

2014年度 事業報告

公益社団法人浦安青年会議所
2014年度理事長 金沢 剛純

スローガン 「変革の能動者たれ ～魅力あふれる浦安の創造～」

【はじめに】

2013年に40歳になられた11名の偉大なる先輩がJCを卒業をされ、53名で2014年度の浦安青年会議所はスタートしました。現状に満足することなく、メンバー一人ひとりが成長をする。時代とともに変化をしていき、魅力ある青年会議所をつくりあげていく。理事長として、そのことを強く意識した一年でありました。そして、2015年に35年目を迎える浦安JCが、運動を力強く発信するためにも、5年後、10年度を見据えた組織づくりに力を入れた一年でもありました。素晴らしいメンバーに囲まれ、行政や様々な団体の皆様、OBの皆様など、多くの皆様に支えて頂きながら、何とか2014年度の運動・事業を終えることができました。厚く御礼申し上げます。

【会員拡大について】

2014年度は、15名の方が入会をして頂きました。今年は会員拡大の新しい手法として、全国各地で拡大に成功している事例を研究し、浦安版にアレンジをした入会オリエンテーションを合計6回開催させて頂きました。そのおかげで、何とか拡大目標を達成し、千葉ブロック協議会で表彰を頂くこともできました。この15名が、これからの浦安JCを支える人財になっていくことを今から確信しております。

【人財開発プログラムについて】

JCは、人生最後の道場である。その言葉の通り、私は、JCによって、多くの機会を頂き、様々な経験をし、多くの先輩や同僚に教えて頂きながら、自分自身を成長させることができました。これからもJCとしての誇りと自覚を全員が一律にもっていくための人材開発プログラムをつくりあげることができました。また、松崎市長、中村副市長をはじめ、多くの皆様に協力を頂きながら、「誇れる浦安」の魅力の過去、現在、そして未来を語れる人財の育成にも力を入れ、私自身も大変多くの勉強をすることができました。また、諸先輩方の協力を頂きながら、広報の手段や事業構築の手法などを、過去の例会を通して学びました。

【浦安市との協働事業である就業体験について】

本年2年目となる浦安市の協働事業提案制度を活用した、「人と人をつなぐ就業体験」は、企業と地域と若者と三位一体となることでの地域活性化をめざし、すすめてまいりました。6月には、元スターバックスCEO岩田松雄様、マイナビ編集長三上隆次様をお招きし、学生の働くためのスイッチを切り替え、9月にはマナー講師の尾崎まみ様をお招きし、就業体験への学生を送り込む体制を整えました。そして、新たな試みとして、業界・業種ごとに学生がJCメンバーを中心とした社会人とざっばらんに働くことを身近に感じてもらえる座談会を開催し、JCらしさの設えもすることができました。行政からも一定の評価を頂くことができましたが、市内企業54社、市内外の大学生68名と、参加人数を大幅に増やしていくことはできませんでした。また、9月の修了式は、株式会社ダイニチ 六井元一様と大川水産株式会社 大川三敏様をお招きし、浦安の魅力を感じて頂くために、市内の素晴らしい社長をお迎えしましたが、まだまだ社長の話し聞くとというレベルよりも、まだまだ学生気分が抜けない学生が多かったかもしれないと感じました。

本年度をもって、協働事業提案制度が終了します。より予算化しながらも、目的に合致し、さらに学生がしっかりと成長でき、魅力を感じてもらえるプログラムの開発を、進めていかなければなりません。さらに、高校生の募集など、より地域に根差した事業展開をしていくべきだと考えております。

【青少年事業について】

毎年、開催させて頂いております「わんぱく相撲」は、238名のわんぱく力士に参加頂き、無事に終えることができました。明治大学相撲部にも協力を頂き、稽古をして頂くことで、いい思い出ができたのではないかと考えています。来年こそは、減少傾向にある参加人数に対し、一石を投じる手立てをする必要があると考えています。そして、今年は、千葉県大会を、市川市塩浜市民体育館の土俵をお借りして、浦安JCが主管させて頂きました。琴奨菊関に来会頂き、子供たちも目を輝かせ、とても喜んでおりました。浦安からも1名、全国大会に出場し、大変いい経験になったと思います。

そして、市民まつりの会場をおかりし、千葉工業大学の林原教授の協力を頂き、「生きる力」をテーマに、夢の実現に向けて、決してあきらめないという気持ちが大切であるという点をロボットの開発過程などから、感じていただくとともに、将来人間対ロボットのサッカー対決が行われるという未来図を子どもたちに見せることが出来ました。

【5ヶ年運動方針について】

浦安JCとして、同じベクトルを向いて花を咲かせるまで長く運動を展開していかなければならないことがあると考え、4月には、吉武永賀先生をお招きし、策定のキックオフを行い、5ヶ年運動方針は、11月の総会で成立いただきました。2015年は、地方創生元年と言われております。地域から日本を変える。浦安JCも2015年に創立35周年を迎えます。そのためにも、5年後をしっかりと見据えたまちづくり、ひとづくり、組織づくりを展開していき、40周年の際に、しっかりと検証をして頂きたいと思っております。

【あなたがまちのプロデューサー】

まちの未来について、真剣に議論をしていき、発表をしていく。このことは、毎年どんな形でも続けていくべきであると思っております。2013年度は、浦安JCとして、浦安市に政策提言を提出致しました。2014年度は、30年後の浦安がどうなっているのか、次世代を担う若者が、30年後、自分たちの子供たちに、どんな浦安を残したいのか、議論していくことは重要であると、**「あなたがまちのプロデューサー」**を募集し、2か月間議論を重ね、発表をして頂きました。優勝した中学生のお二人には、松崎市長に発表する時間を設け、意見交換をする機会も提供できました。

【公開討論会について】

10月の浦安市長選挙に伴う公開討論会をはじめ屋外で開催させて頂きました。普段、政治に関心のない方が少しでも参加できる、聞くことができるように、新浦安駅前広場において、設営をいたしました。多くの方が立ち止り、関心をもっていただくことができました。新しいことにチャレンジしたことによって、寒さ対策、動線、サテライト、告知方法など、まだまだ課題も多く発見できましたので、次回にしっかりとつなげていきたいと考えております。

【さいごに】

2014年、私にとって、忘れられない年となりました。理事長として、多くの機会を頂き、様々な経験をさせて頂きました。メンバー全員に、多くの機会をこれからも提供する、そして成長をする人生最後の道場としてのJCをこれからもしっかりと確立して頂きたいと思っております。2015年度が、2014年度をしっかりと超えていくことによって、JCが運動体として、しっかりと続いていくことを祈念して、2014年度の事業報告とさせて頂きます。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。